

■学校関係者評価結果

学校評議員の方（代表区長2名、民生児童委員代表2名、連合婦人部代表）には、学期ごとに年間3回、授業参観後、学習と生活の観点からご意見（3回目はアンケートも実施）を頂きました。

○学習面（授業参観後の感想より）

- ・学習規律の一環として、発表する際には椅子をきちんと中に入れてから発表している姿があり、大変よかった。
- ・教室や廊下の掲示物に子どもたちの頑張りを感ずることができた。
- ・特別支援学級では複数学年での指導もあったが、一人一人に応じたきめ細かな指導がされていた。
- ・子どもたちは、4月に比べ落ち着いて学習できていた。子どもの興味・関心を高める学習がなされている。

○生活面（3回目のアンケートの記述より）

- ・「自分が相手に何かをされて嫌だと思ったことや何かを言われて心が傷ついたことを相手にしてはいけない」という相手を思いやる気持ちが育つよう正しく諭す指導が行き届いていて安心だ。今後は、相手にしてもらってうれしかったことや相手に言われて心が和んだこと、勇気づけられたことを生活の中に取り入れる指導をしていただきたい。
- ・帰宅後や休日、自転車に乗るときには、必ずヘルメットを着用し、ルールを守っている。
- ・朝の立ち番でもきちんと元気よくあいさつをしてくれるので気持ちよい。先生も進んであいさつをしてほしい。
- ・こちらがあいさつをすることでしてくれるが、率先して元気なあいさつをする子になってほしい。
- ・掃除が行き届いている。トイレのスリッパがそろそろさらに気持ちがいい。3学期はそろそろようになった。

■自己評価結果（教職員による評価）

本校では、毎年11月に教職員一人ひとりが、学習指導、生活指導・特別活動、心の教育、体力づくりなどの項目で自己評価を実施しています。それをもとに、12月に学校教育改革推進委員会を開催し、指導の見直しを図っています。さらに、1月の保護者アンケートの裏面に書いていただいた自由記述や年3回の学校関係者評価を受けて、学習と生活の両面から振り返りを行っています。

○学習面

- ・個人差が大きく、学力支援の必要な児童が多い。
 - 子どもたちにとって「わかる」「できる」授業を行うことに努め、教師の指導力の向上を目指す。特に、個別に支援が必要な児童については、通級も視野に入れ、個別指導を充実させていく。
- ・計算・技能面は、ある程度習熟することができているが、時間が経つと既習事項を忘れやすい。
 - 学習単元につながる既習事項の復習を取り入れていく。6年間の学びの系統性を意識して指導する。
- ・文章題や資料を読み解く力、活用力が弱い。
 - 問題を絵や図に表し、立式の根拠や数値の表している意味を説明できるようにするといった数学的活動を授業の中で多く取り入れる。また、多くの児童に説明させる場を設定する。
- ・チャレンジ学習への取組は、個人差が大きく、内容や取り組み方が偏っている。
 - モデルとなるチャレンジノートを、学級通信、学年通信、昇降口掲示板で紹介し、引き続き啓発を行う。
 - 自習の時間等を活用し、学校でもチャレンジに取り組む時間を設ける。

○生活面

- ・「あいさつ」「トイレのスリッパ」ができていない。
 - 教師から率先してあいさつをする。児童会を中心にあいさつ運動を継続して実施する。
 - トイレのスリッパを並べることは、習慣づくよう今後も根気よく指導する。
- ・毎月の「生活アンケート」では、子どもの悩みや困りごとを早期発見しやすい。
 - 児童の悩みや困りごとをさらに丁寧に聞くために、アンケートに書きにくい内容は、「相談したいことがある」の欄に○をつけて、記述欄は空欄で出せるようにし、後日、別室で教育相談を実施する。
- ・「もくもく掃除」（だまってそうじに集中）が定着してきている。今後は、「見つけ掃除」にも取り組ませる。

○学校行事・PTA行事の見直し

- ・インフルエンザ流行の観点から校内マラソン大会は、来年度は12月16日に実施する。
- ・地区水泳は、熱中症予防と監視当番への負担軽減を図り、お盆までの期間とする。（PTAで協議の上決定済）
- ・安全面を考慮して、運動会での5・6年生による組体操はやめ、それに代わる表現運動を実施する。

今後もいただいたご意見をもとに、学校改革を推進し、子どもが安心して学ぶことのできる学校づくりに取り組んでいきます。アンケート等ご協力ありがとうございました。